

A. 主な動き

1. 内政

独立記念日(24日)関連の動き

・23日、ヤヌコーヴィチ大統領は、独立20周年記念式典に出席し演説。主なポイントは以下のとおり。

- 欧州統合及び経済危機「第二の波」の回避を国家最優先事項とし、国民の意見を考慮した重要改革(年金・保健・教育の三大改革)の実施を強調。

- 国内重点分野として、経済分野は科学技術産業発展・国家プロジェクト促進・投資環境改善・規制改革・税制改革・農業改革、政治分野は憲法改革・選挙法改正・地方行政改革を提示。

- 外交目標として、EU連合協定及び深化した包括的FTA交渉の年内終了、露及びNIS諸国との戦略的経済パートナーシップ構築、米国・中国及び太平洋地域諸国との関係強化を提示。

・23日、キエフ地区行政裁判所は、独立記念日当日のキエフ市中心部における集会及び行進等の禁止を決定。一方、24日、シェフチェンコ公園内に参集した野党勢力関係者が大統領府へ向けた行進を試みた際、警察との衝突が発生。25日、キエフ市検事総局は、同衝突において警察官六名が負傷したとし、刑事事件としての捜査を開始した旨発表。

ティモシェンコ前首相に対する刑事事件

・22日、キレィエフ・キエフ市ペテルスク地区裁判所裁判官は、ティモシェンコ前首相に対する予防措置変更を求める旨の請願を再度却下、審議妨害を理由にティタレンコ弁護人の審議への参加の権利を剥奪。

・23日、保健省は、ティモシェンコ前首相の専属医を含めた医師グループによる診察の結果、同前首相の健康状態に問題は無いことが確認された旨発表。

その他

・22日、リトヴィン最高会議議長は、国民党(元ブロック「リトヴィン」)の地域党への統合の可能性は排除されない旨発言。

・22日、シャボヴァル中央選挙管理委員会委員長は、キエフ市長選挙は2012年に実施される必要がある旨発言。

2. 経済

マクロ経済

・26日、国家統計局は、7月の平均給与を前月比1.5%上昇の2,749フリヴニャと発表。

経済改革

・21日、リトヴィン最高会議議長は、9月6日に年金改革法案への技術的修正条項について投票を実施した後、大統領に提出予定である旨発言。

IMF

・25日、IMFは、ウクライナへのレビュー・ミッション派遣を10月とする旨発表。

・26日、アザロフ首相は、現時点におけるIMFの次トランシェの必要性は高くない旨発言。

対外経済協力

・22日、ユーラシア開発銀行(EDB:露及びカザフスタンにより設立された国際金融機関)は、ウクライナがEDBに加盟することで、ウクライナのプロジェクト・貿易金融が容易となり、ウクライナの経済成長と発展を助ける旨のコメントを発表。なお、17日、閣僚会議は、クリューエフ第一副首相兼経済発展・貿易相に対し、EDBに加盟を申請するための書簡への署名を要請する決議を承認済み。

・25日、メドヴェージェフ露大統領は、ウクライナとの関税同盟(露、ベラルーシ及びカザフスタン)における協力に関し、露はウクライナのフル加盟を望んでおり、「3+1」フォーマットでの協力体制は有り得ない旨発言。一方、26日、ヤヌコーヴィチ大統領は、関税同盟との協力に関する問題については妥協点を探る必要がある旨発言。

その他

・26日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ミロフE BRD総裁にヤロスラフ賢公勲章を授与。

3. 外政

・22日、アザロフ首相は、ミヤニコヴィチ・ベラルーシ閣僚会議議長と電話会談、発光ダイオード、医薬品の共同生産、農業分野等につき意見交換。

・22日、ヤヌコーヴィチ大統領は、チホノフ元副首相兼地域発展・建設・公共サービス相を駐ベラルーシ大使に任命する大統領令を发出。

・26日、グリシチェンコ外相は、アゼルバイジャンを訪問し、メメディアロフ同外相と会談、4月のヤヌコーヴィチ大統領によるアゼルバイジャン訪問の際の合意事項の遂行状況、経済及びエネルギー等の二国間協力促進に向けた課題につき協議。

4. 防衛

軍改革

・23日、ヤヌコーヴィチ大統領は、現条件下で適切にウクライナの財産を守ることができる軍隊の創設に向けた包括的な軍改革が始まった旨発表。

・23日、エジェリ国防相は、今後5年間でウクライナ軍の人員を20%削減する計画である旨発言。

その他

- ・23日、外務省は、リビア反政府勢力がカダフィ大佐側で戦ったとされるウクライナ人傭兵を拘束した旨の報道に関し、事実関係を確認している旨発言。
- ・24日、ヤヌコーヴィチ大統領は、独立記念日にオヌシェンコ空軍司令官の中将から大将への昇任を含む複数の将官

昇任人事を発表

- ・25日、マカロフ露参謀総長は、ウクライナが今年初めてロシア・ベラルーシ軍事演習「ユニオン・シールド2011」に参加する旨発言。

B . その他の動き

8 / 21 (日)

- ・ウクライナ市民団体の活動家は、露黒海艦隊の敷地内にある5つの灯台をウクライナ側に引き渡すことを命じた過去(2006年)の裁判所判決を再確認したクリミア自治共和国経済裁判所の決定を不服とし、露黒海艦隊の敷地内にある灯台に不法侵入。ウクライナ側警察はこれを排除。

8 / 23 (火)

- ・国家保安庁は、キエフ州ヴァシリコフ市において、独立記念

日に爆発を引き起こすことを企図していた組織犯罪集団の構成員3名を拘束した旨発表。

8 / 26 (金)

- ・ヤヌコーヴィチ大統領は、ホロシコフスキー国家保安庁長官に軍大将の称号を与える旨の大統領令を公布。
- ・キエフ市は、京都公園における桜並木の整備計画及び同公園近隣における日本文化センター建設の可能性について調査中と発表。

(了)